



大事な3つの初動対応

●火災発生時には、以下の行動を実施しましょう。

消火

- ☐ 火災発生場所を確認後、**消火器**を使用し、**初期消火**を行いましょう。
- ☐ 消火器で消火できない場合は、**屋内消火栓設備**を使用しましょう。

通報

- ☐ **119番通報**をしましょう。
 - ※ 職場の住所を伝えましょう。
 - ※ 火元、けが人などの情報も伝えましょう。

避難誘導

- ☐ 火元の**部屋のドア**や**防火扉**を閉めましょう。
- ☐ **放送**などで建物内に**火災の発生**を知らせ、**避難誘導**をしましょう。
- ☐ 在館者がいる場合は、**火元から遠い避難口**へ誘導しましょう。

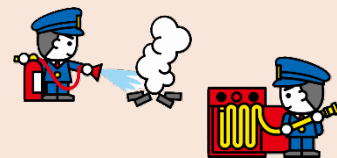
※ 自動火災報知設備のベルが鳴ったら、受信機で現場を確認し、火災の有無を確認しましょう。

教育・訓練の実施

 **消火器**や**屋内消火栓設備**の**位置**や**使い方**は分かりますか？

 **119番通報**の**手順**は分かりますか？

 **避難経路**と**誘導方法**は分かりますか？



火災発生時の初動対応の備え、職員に対する**防火教育**や**自衛消防活動の担当者に対する訓練**を定期的に行いましょう。

特に、**夜間・休日**を想定した**少人数での対応**などさまざまなシチュエーションを想定した実践的な訓練をしましょう。

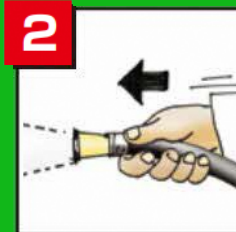
消火器の使用方法

●**いざ**という時のために、**消火器の操作手順**を確認しましょう。

消火器の操作手順



黄色いピンを上引き抜く
※運搬中にピンを引き抜くことは避けましょう。



ノズルを火元に向ける。



レバーをにぎるとノズルから消火剤が放出されます。



注意

火災発生時、すぐに初期消火できるよう、消火器の使用方法を確認しましょう。炎が天井に達している場合は、初期消火をあきらめて、直ちに避難してください。



【消火器の取扱い説明動画】

火災発生時に備えましょう



屋内消火栓の使用方法

- 消火器で消えないときは**屋内消火栓設備**を使用します。
2人で操作するものと1人で操作できるものがあります。
設置されている屋内消火栓設備の**種類**を確認し、**操作手順**を確かめましょう。

● 2人の操作が必要な屋内消火栓設備 (1号消火栓)

① 消火栓ポンプ起動

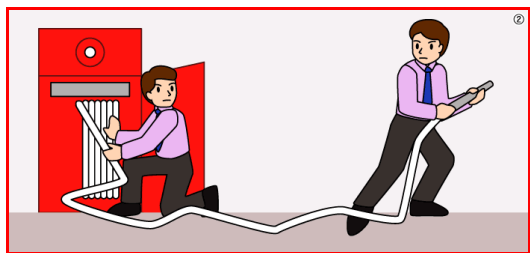
起動ボタンを押し、消火栓ポンプを**起動**します。



※上記は発信機とポンプ起動ボタン兼用の場合です。
種類によって異なりますので、
事前に起動ボタンの位置を確認しましょう。

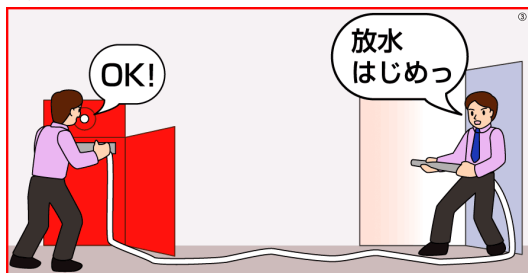
② ホース延長

ホースにねじれがないように確認しながら**延長**し、
出火箇所に向かいます。



③ バルブ開放・放水

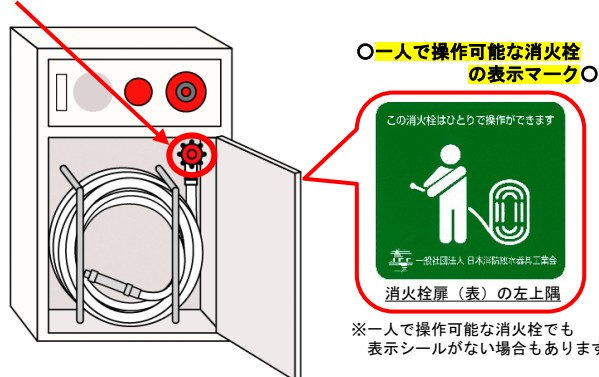
出火箇所に接近した操作員の放水準備ができたなら
「放水はじめっ」の合図で、消火栓の**バルブ**を開放
し放水します。



● 1人の操作が必要な屋内消火栓設備 (易操作性1号消火栓・2号消火栓・広範囲型2号消火栓)

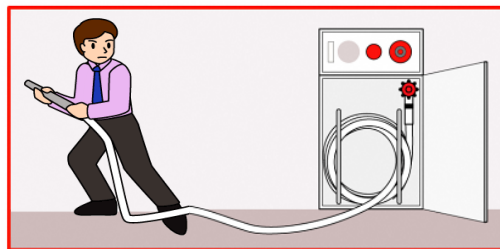
① バルブ開放

バルブを開放すると消火栓ポンプが**起動**します。



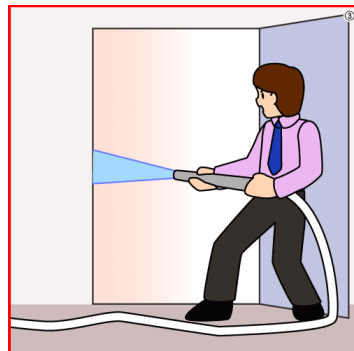
② ホース延長

ホースを持ちながら、出火箇所に向かいます。



③ 放水

ホースノズルのコックを開き放水します。



※1人で操作が可能な屋内消火栓は、
種類によって使用方法が異なりますので、**事前に確認**しましょう。